

News Release

HP10007 (2010.10.29)

全国クリーニング生活衛生同業組合連合会

クリーニング技術部会と組合の合同事業「派遣講師講習会」を開始

全ク連・クリーニング技術部会（古谷一部会長）と全国の都道府県組合は、合同事業である「派遣講師講習会」を平成22年～23年度に各組合で順次開催する。

この事業は全国のクリーニング技術部会員と組合員が同一内容、同一レベルの研修をすることで技術を研鑽することを目的に平成20年度より開始した。講習会には、社団法人繊維評価技術協議会の協力を得て専門の講師を派遣するとともに、各都道府県組合で選任されているクリーニング技術部会組合幹事が講師を担当する。

10月24日（日）には、平成22年度の先陣を切って宮城県組合（鎌田厚司理事長）で開催し、社団法人繊維評価技術協議会の鷺見繁樹参事が「品質検査報告書が示す繊維製品の基本性能の理解」をテーマに講師を務めた。鷺見参事は、クリーニングで処理した繊維製品に色泣きや移染、破損等の問題が発生したときに、製品を製造・販売した企業等から提出される品質検査報告書が示している染色堅ろう度などの繊維製品の基本性能の意味を理解するために必要な基本知識について解説した。

また、宮城県組合の技術部会組合幹事である小松敬蔵氏は、「適正な状態で品物をお返しする、お渡し前の品物の返却のポイント」並びに「クリーニング所における衛生管理要領に新しく規定された引火性溶剤の取扱いに対応する洗剤濃度の測定方法」について解説した。



講演を行う鷺見参事

< 問い合わせ先 >

担当：クリーニング総合研究所

／梅澤、小野

電話：03-5362-7201